

## シロギス釣り

海の安全推進アドバイザー 小野信昭



小さな魚体ながら強い引きを味わえるシロギス釣り シロギスの定番メニューはやはり天ぷらです

シロギスは北海道以南の日本各地の沿岸に生息し、その名のとおり白く、キスをするように口を尖らせた、細長くスマートな体型の魚です。沿岸部の浅場で狙うことができるのでビギナーからベテランまで楽しむことのできるボート釣りにおけるもっともポピュラーなターゲットの一つです。

手軽に狙うことのできるシロギスではありますが、食べても美味しいことが知られていて中でも天ぷらは定番メニューとなっています。

1年中釣ることはできますが、ベストシーズンはゴールデンウィーク頃から秋口までで、棲息場所の水深は3～20メートル、海底底質は砂泥地となります。遊泳層は海底からせいぜい50センチ程度なので魚群探知機では捉えにくい魚ですが、ボートから四方八方へ仕掛けを投げ入れ、誘いを掛けながら手前にリーリングしてくることで海底付近を探ります。群れで泳ぐ魚なので1尾でも釣れたらそのポイント付近を繰り返し探ることが釣果を伸ばす秘訣です。

なお、シロギスは臆病な魚なので水深10メートル以浅を流す際にはエンジン音がシロギスの警戒心を高めてしまい、喰いに悪影響を与えることがあるのでエンジンは停止し、ドテラ流しやシーアンカーを使って静かにボートを流した方が好釣果に繋がります。

とはいえ、釣りの最中はエンジンを停止し、いざポイント移動や帰航しようと思ったらエンジンが始動しない・・・といったトラブルに見舞われる人も少なからずいます。

ボート釣り愛好家の中には寒い冬の時期は釣りを控え、ゴールデンウィーク頃からシロギス狙いで釣りを再開する人もいて、適切なメンテナンスを行わないままシーズンインしてしまうことが原因となっているケースが多くあります。

例えば、シーズン終了時にしっかりメンテナンスして保管してあったとしても、シーズンインするためには適切なメンテナンスを済ませたうえで出航する必要があります。



シーズンインに向けてのメンテナンスは特に念入り